

1st Step: 輸液回路を自分で組めるようになろう

症例1-1 70歳の女性。生もの摂取後に、繰り返す頻回の嘔吐と下痢を主訴に来院。

ヤバレジくん : この患者さんは脱水状態だね。ヤバレジくん、この輸液を点滴して。

看護師さん : わかりました、看護師さんに頼んでおきます!

ヤバレジくん : ……。

看護師さん : 急いでいるときは自分でやったほうが早いわ。私たちでやりましょう。

ヤバレジくん : そうだね、僕らでやろう。ヤバレジくん、準備して。

看護師さん : ええっと……。

看護師さん : 確かこうするのよ。

- ① 必要なものを準備する (図1-1)。
- ② 輸液チューブと三方活栓を繋げる (図1-2)。
- ③ ローラークレンメを完全に閉める (図1-3)。
- ④ 輸液をガートル台に下げ、アルコール綿で消毒してから輸液チューブを刺す (図1-4)。
- ⑤ チャンバーを揉み、規定の線まで輸液を満たす。
- ⑥ ローラークレンメを開放し、チューブ内を輸液で満たす (図1-5)。

ヤバレジくん : そうだね。しっかり手順を覚えてすぐできるように練習しよう!

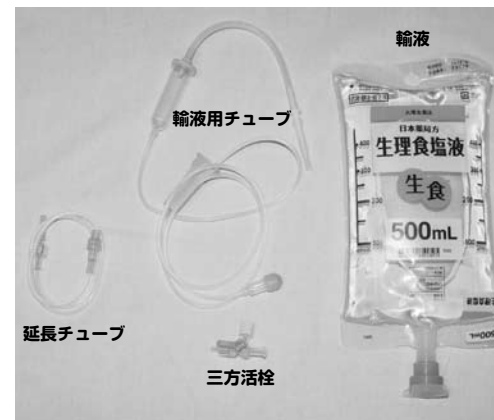


図1-1 輸液回路～組み立てステップ①～

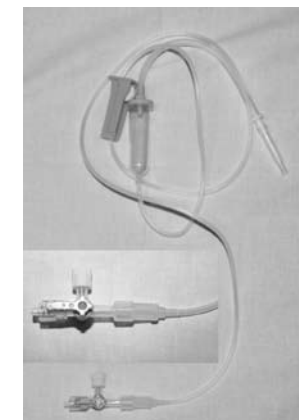


図1-2 輸液回路～組み立てステップ②～

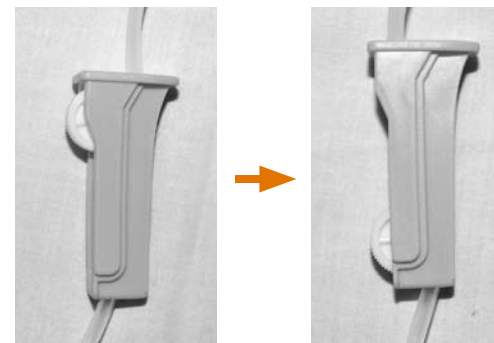


図1-3 輸液回路～組み立てステップ③～



図1-4 輸液回路～組み立てステップ④～

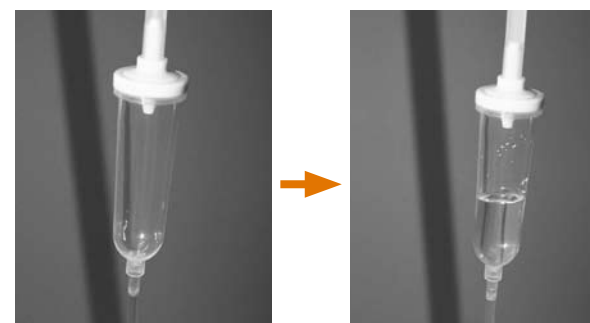


図1-5 輸液回路～組み立てステップ⑤～